

みんなで歌おう:曲目決まる!

歌いたい曲のアンケートにご協力頂きありがとうございました。ご回答頂いたアンケートは3月末時点で百数十通に達することができました。集計の結果、以下の曲が「ベスト20曲」に選ばれました。

「みんなで歌おう会!」ではこの20曲を中心に進めていきたいと思えます。幼き日々、懐かしき青春時代にタイムトリップして、楽しいひと時を過ごすことができたかと考えております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。【あいうえお順】

青い山脈



いつでも夢を



上を向いて歩こう



川の流れるように



学生時代



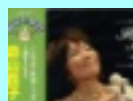
北国の春



高校三年生



この広い野原いっぱい



四季の歌



知床旅情



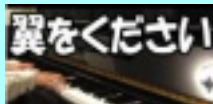
青春時代



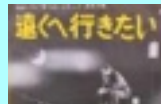
世界に一つだけの花



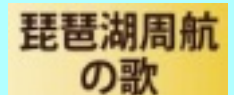
翼をください



遠くへ行きたい



琵琶湖周航の歌



ふるさと



星影のワルツ



見上げてごらん夜の星を



有楽町で逢いましょう



若者たち



薬草プロジェクト事業に参加 手始めにキックオフシンポ

グループわ は、兵庫医療大学が中心となって進める「兵庫の薬草を知ろう・広めよう・味わおう」プロジェクト事業に参加することになりました。山南町の薬草薬樹公園、ふるさと和田振興会、しあわせの村、あいな里山公園、ウエルネスサプライも加わり、平成32年3月まで取り組みます。同事業は兵庫県の補助金を受けます。

キックオフシンポは3月5日、丹波市山南町の市立薬草薬樹公園で開かれ、〈わ〉の小畑理事長、園芸20期、食文19、20、21期ら22人をはじめ、約100人が参加しました。



午後1時から兵庫医療大学薬学部の学生が考えた薬草料理(ミネストローネ、ぜんざい、お粥、クッキー)を試食、薬草で入浴剤を作り=写真、薬草クイズを楽しみました。薬草を目の前で見せ、その匂い、色、形、なめた味などで名前をあてるゲームです。午後3時から薬草研究者の山下幸治さん

が「山南町和田地区における薬草の歴史」と題して講演。山下さんは95歳で昭和22年から薬草を栽培している大ベテラン。続いて神戸ハーブ園元園長であいな里山公園園長の高畑正さんが「神戸ハーブ物語」と題して話しました。和田地区は江戸時代から300年続く有数の薬草生産地。トウキ、セネガなどが有名です。兵庫医療大学は生薬研究で和田地区との交流が生まれました。〈わ〉は今後、しあわせの村内の薬草園の整備、薬草紹介マップの作製、植樹イベントの開催などに参加することになります。

(文 広報 永野知己 写真 藤田健一)

2人に功労賞決まる

グループわ の29年度の功労賞は4月7日の理事会で、下記の2人に決まりました。

【功労会員】

◆淡路 忠義(福5)=朗読あかりの会 19年目 北区会長5年間(H13-18)など、むかしあそび研究会・特養神港園での支援活動を継続中。

◆北山 秀俊(国9)=ミヤンマー支援グループの代表として10年間に亘って活動を続けています。

(広報 藤田 健一)